

定期巡回・随時対応型訪問介護看護 生協くさつ24

介護・医療連携推進会議議事録

2019年10月24日(木) 16:00~16:50

参加：大迫、松田、福馬、土井山、和田 欠席：柿岡 記録：和田

利用状況 (2019年4月~2019年9月)

	利用者数	平均介護度	新規	中止		利用者数	平均介護度	新規	中止
4月	8名	3.2	2	3	7月	10名	3.0	1	2
5月	10名	2.9	0	0	8月	8名	3.3	0	0
6月	10名	2.8	0	0	9月	9名	3.3	0	0

佐伯区4 西区7 自法人4件 他法人5件(土谷・コモン・ゆたか・IGL)

2019年4月定期巡回サービスが観音圏域に開所しました。

開所に伴い3名のスタッフがかんおん24へ異動になり、6名のスタッフでスタートをしました。相変わらず朝・夕にサービスが集中していることと、スタッフが減少したことでシフトの調整やルートを増やすことが出来ず新規受け入れに支障をきたしている状況です。それでも出来るだけ受け入れるようスタッフが奮闘しています。

4月からの新規相談は10件でした。うち3件受け入れることが出来ましたが、7件は受け入れることが出来ませんでした。大宮・南観音方面の依頼は、かんおん24に紹介させて頂き、相談の中にはご家族からの相談が2件あり在宅で看取りたいとの事でした。ホスピスを勧められたが、ご家族は在宅を希望されておられる様子でした。

定期巡回を利用するにあたり、まずはアセスメントを行い、訪問回数・時間を決めるのですが、ケアマネジャーの見識や利用者様の意向が優先されサービスの内容や時間が決定している状況です。利用料が介護度によって一律の為、ケアマネジャーの利用者への説明が「何回入っても金額が一緒です。」と言われることが今もあります。

定期巡回はいいサービスだと思うがなぜ広まらないのかとの意見があり、定期巡回協議会の取り組みについて説明した。庚午圏域で定期巡回サービスについての研修を行い、周知して頂いてもいいのでは?と提案して頂いた。

*苦情・事故

車両事故 2件

- ①信号待ちで後ろから追突される。けが人なし。車両も目立った傷もない。
- ②縁石にフロントのバンパーを擦った。(狭い所での離合中)

紛失 1 件

- ③アルソック（警備）の操作カード紛失し紛失届を提出。翌日自宅で発見し紛失届の取下げをする。

*事例紹介・・・定巡からヘルプステーションへの移行 資料あり

昨年に引き続き、1名の利用者様はくさつヘルプステーションに移行することが出来ました。

資料を見ながら説明した。自立へ向けた支援が次のステップに繋がったケースで、なかなか定巡が広まらないのはもったいないとの意見があった。

生協くさつ夜間対応ヘルプステーション

2019年4月～10月

利用者数	中止
4名	1名(死亡)

死亡された1名の方はターミナル患者様で、最後は自宅で迎えたいと施設入所から退所され自宅に帰られたケースです。くさつヘルプステーションと連携し日中はヘルプステーション、夜間はくさつ24が対応することになりましたが、ご自宅に帰った当日に急変しお亡くなりになりました。

定巡でも言える事ですが、依頼があった際、受けることが出来るかどうか早い判断が必要になります。特にターミナルの方であれば状態が急に悪化することがあります。依頼があれば前向きに検討するよう努めます。

地域では100歳体操の教室は人が増えてきているそうで、地域の高齢者も人とのつながりを求めていることが分かった。

介護保険のサービス利用の始め方、定期巡回と訪問介護の違いについて質問があった。